九州建設情報社

全標協九州協会福岡県支部・県交通安全施設業協会「子どもを守ろうプロジェクト」
那珂川市の通学路にガードパイプ設置や安全シート貼付、横断歩道のカラー化等

溶融噴射式カラー塗装

横断予告マーク

（一社）福岡県交通安全施設業協会（田中賢哉会長　会員９５社）と（一社）全国道路標識・標示九州協会福岡県支部（会員２５社）共催の「子どもを守ろうプロジェクト」が今月１９日（木）、２０日（金）の２日間、那珂川市の安徳南小学校と那珂川南中学校の周辺道路を対象に行われ、交通安全のためのガードパイプ（延長６０ｍ）設置や横断歩道のカラー化施工（赤・白色）、生徒さんが描いた絵を基にデザインした安全標語シート（溶融式）施工などのボランティア活動を行った。

両団体では、子どもたちの事故防止を目的に、交通安全対策のボランティア活動（子どもを守ろうプロジェクト）を行っており、３回目の開催。今回は、那珂川市の市制移行を記念し、福岡県警本部交通規制課・春日警察署交通課、那珂川市都市整備部建設課とも協議して、市内の安徳南小学校（生徒数６９５人）と那珂川南中学校（生徒数６５５人）の周辺道路の安全施設対策を実施した。安全施設対策は、１９日から２０日にかけて２日間（延べ約１５時間）、両団体の会員社から延べ３０人が参加して施工作業に当たった。

溶融式シート

施工内容は、両校の通学路沿いにガードパイプを７箇所、延長６０ｍ設置したほか、学校近くの横断歩道を目立つように赤色と白色のツートンカラー化し、車道部などに事故防止の区画線や停止線なども施工。また、多くの生徒さんが通う通学路には、安徳南小学校の生徒さんが描いた交通安全の絵と「とび出し、キケン！！」、「キキキーッ」の安全標語をデザインした溶融式シート（幅１２０ｃｍ×縦１６５ｃｍ）を３枚設置した。

ガードパイプ施工状況

ガードパイプ（完成）

この日の作業に立ち会った田中会長は「最近全国で、子どもたちが犠牲になる悲しい事故が多く、少しでも子どもたちを守れないかという思いで全国組織の業界団体と福岡県の業界団体、そして福岡県警と那珂川市が共同でプロジェクトを起こしています。今後も、福岡県内でのこの活動を続けていきたいと考えています」と話していた。なお、施工した安全施設は、９月２６日（木）午前９時過ぎに団体関係者が那珂川市役所に出向き、目録を贈呈することになっている。

寄贈式

小学校

作業に立ち会った役員

子ども１１０番